

JR東海労ニュース

No.1623

2011年11月8日

JR東海労働組合

社員の努力に報いる3.2ヶ月を支給せよ！

2011年度年末手当第2回団体交渉

会社に支払い能力あり、ため込んだ利益を還元せよ！

なんと役員報酬12億8,700万円！

取締役は一人平均4,931万円だ！

運輸収入7月～9月は対前年比101.1%！

11月8日、JR東海労は2011年度年末手当第2回団体交渉を開催しました。団体交渉は、申し入れについて現段階の会社回答を受け議論しました。JR東海労は「役員報酬は総額12億8,700万であり、昨年よりも7,300万円上積みされている。第2四半期の決算は、ほぼ昨年並みに戻ってきている。高速道路の無料化・航空機との競合による影響は出ていない。7月～9月では、昨年を上回る収入を確保してきた。今年度の経常利益は2,180億円、純利益は1,320億円と昨年を上回る利益を予想している。会社には十分な支払い能力がある。従って3.2ヶ月を支給すること」と主張しました。

しかし、会社は社員の努力を認めながらも「通期の予想ではなく、あくまでも第2四半期の決算で判断をする。先行きが不透明である。JR東海の賃金水準は高い」と厳しさを強調し、JR東海労の要求に応えようとしませんでした。

また、期末手当におけるこの間の組合員への意図的なカットに抗議し、年末手当のJR東海労組合員を狙ったカットは止めることを強く迫りました。

JR東海労組合員を狙ったカットは止める！